

# 日本の投資家の皆さんへ

チリ海外投資委員会

〔副理事長〕

マティアス・モリ

Matías Mori



チリへの直接投資について語るとき、日本の果たす役割の大きさを抜きには語ることはできない。

日本のチリ向け総投資額は30億4000万ドル強と、海外からのチリ向け直接総投資額の約4%を占め、投資元国別で第6位となっている。この数字は一見必ずしも大きくはみえないが、日本からの投資のうち約85%が、わが国産業で最も重要な鉱工業に向けられていることから、その経済的効果は数字以上のものがある。また、2011年1月から10月までのわが国に対する直接投資額のうちの40%となる12億3000万ドルを日本からの投資で占め、この間の投資元国で第1位となっている。われわれは日本企業がチリを継続的な投資先としてとらえ始めてくれたものと、今後の日本からの投資の増大に期待を寄せている。日本はわが国に対する直接投資において最も重要なアジアの国である。

日本企業からの投資の増大は、わが国経済の自由度・健全性、法律制度の確実性、魅力的なビジネス展開への将来性、政府機関の透明性などを評価いただいたものと信じる。日本の投資家同様、世界各国からも評価を受けることとなった。世界銀行が発行したレポート“Doing Business 2012”において、183カ国中の第39位、ラテンアメリカ諸国においてはトップとな

った。国連より出版された“World Investment Report”では初めて世界上位20位へのランクインを果たした。さらに、われわれチリ海外投資委員会の2011年度の海外直接投資申込み金額は、速報値ベースで前年度比4%増の137億9000万ドルとなった。世界経済の先行きに悲観論が高まり、海外からの直接投資誘致競争が激化する今日、チリは海外投資家から信頼できる投資先としての評価を享受できるようになったものと感謝している。

ところで、チリ海外投資委員会は2年前に、アジア企業とわが国の間の距離感を縮め、同時にわが国への投資コストを削減させることを大きな目標として設定した。この目標実現のために特に注力しているのがわが国からの有益な情報発信である。その一環として、われわれは昨年11月、海外投融資情報財団（JOI）との間で業務協力協定（MOU）を締結した。このMOU締結は、アジアから、なканずく日本からの投資増加の重要なステップであると確信している。世界経済に不透明感が増すなかで、チリそしてわれわれ海外投資委員会は、JOIの協力とともに、日本の投資家にとり常に具体的で透明性の高い情報の発信者であり続けたいと願ってやまない。